

4. トレーシングレポート活用・GOOD 事例

事例①：睡眠薬の変更に関する提案

報告内容

投薬時、患者本人（68歳）より「30日の投与制限のあるプロチゾラムのためだけに通院するのは大変」と相談を受けました。患者は足が悪く、離島から通院しており、頻回の通院は困難のようで、投与日数に制限のない睡眠薬の話をするとう前向きな様子でしたので、次回検討していただけないでしょうか？ なおエスゾピクロン、スボレキサント、ラメルテオン等は投与日数制限がなく、プロチゾラムとの比較において筋弛緩作用が弱いとされており、高齢者の不眠に対する効果や忍容性が報告されています。次回受診の際に参考になれば幸いです。



病院より

報告内容を確認し、主治医へ報告しました。

転帰

次回受診時、エスゾピクロンへ処方変更となった。1週間後に電話にて服用状況を確認したところ、睡眠はとれており、副作用の自覚症状も特になかった。

委員会より

今回のエピソードを機に非ベンゾジゼピン（BZ）系睡眠薬への切り替えが提案され、かつ患者のQOLも向上した事例です。『睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドライン（日本睡眠学会）』では高齢者にBZ系睡眠薬は推奨されず、非BZ系睡眠薬が推奨されています。引き続きフォローを行い、適切な時期に適切な方法で睡眠薬の減量・休薬を試みましょう。

注）75才以上の高齢者およびフレイル・要介護状態の高齢者を主対象とした『高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015（日本老年医学会）』では、エスゾピクロンは「漫然と長期投与せず、減量・中止を検討する、少量の使用にとどめる」ことが推奨されています。

ここが GOOD

- 患者の抱える問題を、医師の判断材料になるような根拠を添えて情報提供している
- 処方変更後、服薬のフォローアップを実施している

フォローアップするなかで得た情報を医師に適切に共有する際にも、トレーシングレポートを是非ご活用ください。